

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立（佐鳴台小）学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

本年度のテーマ

＜つながる力を育む＞

学校支援活動の充実

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・ 各委員の立場から積極的に意見を述べ、それぞれの意見が尊重される話し合いができた。教育活動の参観の場もその都度設定されているので具体的に子供や指導者の様子を通して本校の方針について理解したり課題を考えたりすることができた。
- ・ 基本方針が子供たちにとって未来への夢へとつなぐ内容になっていて、充実した学校生活を送ることができるような気配りを感じる話し合いができた。
- ・ 「いじめ対策」に関する話題が出たが、いじめに直接的ではないけれど、地域と連携した算数サポートやシニアクラブとの触れ合い、昼の見守り活動など、外部の大人とのかかわりによることが「いじめ対策」へつながるという熟議ができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・ それぞれの立場の方がよく努力をされていて、活動の状況について報告もしていただき、充実した話し合いができた。年々、支援活動の質が向上し更なる熟議につながっていると思う。
- ・ 「つながる力」という点で、地域の商店や会社、様々な職業の方の専門的な話を聞くことができ、子供たちは知識を得られているのではないかと思う。
- ・ 算数サポーターのシステムは好事例であると思う。「算数サポーター」「昼休みなどの見守り活動」に対して年間を通して重点的に熟議を続けながら実働に移し検証し修正についての熟議をするPDCAサイクルで熟議を深めることができた。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・ 会議録をホームページに公開して確かな情報発信ができた。
- ・ 熟議したことを実際に活動にまで移し、児童・保護者が参加してもらうことで、情報発信以上の伝達ができていると思う。
- ・ 校長の儀式などでの挨拶や学校だよりなどにも学校運営協議会のことが出てきて、来場者やたよりを読んだ人へこの組織の存在を知らせるとともに委員としてもやりがいを感じている。
- ・ 委員として、自治会などの会合でも話をしている。会合のメンバーの理解は難しいかもしれないが続けていきたい。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・ 「算数サポート」「見守り活動」をさらに進化させ、地域、保護者との連携方法や学校全体への周知を深め、更なる佐鳴台小ならではの特色とした方向性を示すことができると思う。
- ・ シニアクラブの皆さんと触れ合う中で子供たちは学ぶことが多いと思う。継続していきたい。
- ・ 子供たち・保護者・地域住民が生きがいを感じられる学校づくりをしていきたい。すべての子供が楽しく学校に通えるように不登校の問題や外国人の指導にも視点を当てて協議しできることを探していきたい。
- ・ テーマの「つながり」を踏まえてサポーターの必要性をさらに検討していきたい。
- ・ 委員の方から何ができるか提案をし、それらが実現できるようになるとよいと思う。